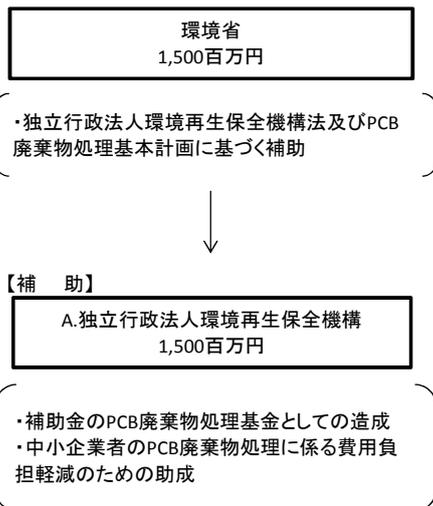


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	PCB廃棄物対策推進費補助金		<b>担当部局庁</b>	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度～平成28年度		<b>担当課室</b>	産業廃棄物課		産業廃棄物課長 塚本直也			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-4 産業廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	独立行政法人環境再生保全機構法(第16条第3項、第10条第1項第5号) ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)(第5条第1項、第6条第1項)		<b>関係する計画、通知等</b>	PCB廃棄物処理基本計画					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国の主導により日本環境安全事業(株)を活用して処理施設を整備し処理を実施するとともに、(独)環境再生保全機構に設置したPCB廃棄物処理基金を都道府県と協調して造成し、費用負担が困難な中小企業者の処理費用負担軽減のための助成を行うことにより、PCB廃棄物の円滑な処理を促進するもの。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	国において、本補助金により、都道府県と協調してPCB廃棄物処理基金への造成を行い、同基金から処理事業者(日本環境安全事業株式会社)に対して中小企業者の費用負担軽減に必要な額を支出することにより、中小企業者の処理費用負担を軽減し、PCB廃棄物の早期かつ円滑な処理の促進を図る。具体的には、平成13年度以降継続的に、国及び都道府県においてそれぞれ毎年度20億円を基金に造成し、平成23年度においても15億円の造成を行う。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	2,000	1,500	1,500	1,500	4,500		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	2,000	1,500	1,500	1,500	4,500		
	執行額		2,000	1,500	1,500				
執行率(%)		100%	100%	100%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)	
	PCB廃棄物(高圧トランス等) 全体累積処理台数			成果実績	件	88,765	120,177	集計中	329,500
				達成度	%	26.9%	36.5%	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	中小企業者助成金額			活動実績 (当初見込み)	百万円	1,464	1,716	集計中	—
						(1,900)	(1,900)	(3,000)	(3,000)
<b>単位当たりコスト</b>	集計中(6月中メド)			算出根拠	-				
平成25・26年度 予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	産業廃棄物適正処理推進費補助金		1,500	1,500	PCB処理施設のPCB除去及び撤去を行う費用に充てるための資金を出資するため				
	出資金		0	3,000					
計		1,500	4,500						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	PCB廃棄物の早期かつ円滑な処理の促進を図るため、国が補助事業を実施する		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	基金造成先において、適正に中小企業者が保管するPCB廃棄物の処理に係る助成業務がなされ、想定された成果が得られたことを随時把握・確認している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	費用負担が困難な中小企業者の処理費用負担軽減のための助成を行うことにより、PCB廃棄物の円滑な処理が促進されているものとする。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>交付要綱等に基づき限られた予算内で確実に基金が造成されているとともに、基金造成先において、適正に中小企業者が保管するPCB廃棄物の処理に係る助成業務がなされ、想定された成果が得られたことを随時把握・確認している。</p> <p>引き続き、中小企業者が保管するPCB廃棄物の処理が促進されるよう、着実な執行に努める。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き基金による助成の成果を把握・確認し、PCB廃棄物の処理が促進されるよう効率的かつ効果的な事業実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的かつ効果的な事業実施に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	142	平成23年	133	平成24年	141

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.独立行政法人環境再生保全機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	PCB廃棄物処理基金の造成	1,500			
計		1,500	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人環境再生保全機構	PCB廃棄物処理基金の造成、中小企業者のPCB廃棄物処理に係る助成	1,500	—	—